

(平成28年9月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	9月の青果物は、8月の台風による産地被害や9月からの秋雨前線停滞の影響により、入荷が不安定となった品目や減少した品目が多く、月を通じた入荷量は前年同月比で3%下回り、価格は高値であった昨年同月を4%下回った。 10月は、近郷野菜では紫ずきんが終盤を迎え、万願寺とうがらしは漸減していくものの、大カブ及び赤カブ並びに海老芋等の根菜類の出荷が徐々に始まる。 果実では、梨は終盤を迎え、巨峰等のブドウも漸減していくものの、ラ・フランスの出荷が始まり、極早生ミカン及び刀根・平核無柿は最盛期となる。リンゴは津軽からシナノスイート及び富士等へ品種が切り替わる。
野 菜	野菜は、8月の台風上陸による北海道等への産地被害により土物類や根菜類の入荷が減少し、9月からの秋雨前線停滞により葉物類や果菜類の収穫や生育にも影響が出たことで、月を通じた入荷量は前年同月比で3%下回り、価格は高値推移した前年同月から5%下回った。 根菜類は、入荷量が前年同月比で13%下回り、価格は33%上回った。 葉菜類は、入荷量が前年同月比で5%上回り、価格は23%下回った。 果菜類は、入荷量が前年同月比で6%上回り、価格は16%下回った。 土物類は、入荷量が前年同月比で9%下回り、価格は24%上回った。
果 実	果実は、極早生ミカンやぶどう類を中心に主要産地の作柄が良く食味も良好で消費を後押しするも、9月に入ってから天候不順で全般的に入荷が減少し、前年同月比で入荷量は前年同月比9%下回り、価格は5%上回った。 柑橘類は、入荷量は前年同月比16%下回り、価格は17%上回った。 リンゴ類は、入荷量は前年同月並みとなり、価格は6%上回った。 ナシ類は、入荷量は前年同月比で7%下回ったが、競合品目の潤沢な入荷が影響し、価格は4%下回った。 カキ類は、入荷量は前年同月比で10%下回り、価格は8%上回った。 ブドウ類は、入荷量は前年同月比で6%下回り、価格は4%上回った。 メロン類は、露地物の切上がりが早く入荷量は前年同月比で40%下回り、価格は26%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	北海道，青森から入荷され，長雨と日照不足の影響で入荷量は前年同月比で7％下回り，価格は10％上回った。
西洋ニンジン	台風による圃場被害を受けた主力産地の北海道を，中国産で補う形で入荷され，入荷量は前年同月を28％下回り，強い品薄感から，価格は113％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長野から入荷され，作柄良く大玉傾向で，入荷量が前年同月を10％上回り，価格は31％下回った。
キャベツ	長野，群馬から入荷され，入荷量は前年同月比3％下回り，業務加工用の需要が落ち着き，価格は高値だった昨年同月を35％下回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心に茨城，群馬，京都，滋賀から入荷され，日照不足から入荷量は前年同月比31％下回り，価格は3％上回った。
レタス	長野から入荷され，入荷量は大雨・日照不足で入荷の少なかった前年同月を26％上回り，価格は29％下回った。
【果菜類】 キュウリ	北海道，福岡，佐賀から入荷され，前年同月並みとなり，価格は単価高だった前年を19％下回った。
ナス	夏秋産地の徳島，岐阜と，冬春産地の岡山，高知，及び，京都から入荷され，秋冬産地の前進出荷により前年同月比で入荷量は13％上回り，価格は13％下回った。
トマト	北海道と岐阜，京都から入荷され，前年同月比で入荷量は12％上回り，価格は18％下回った。
ピーマン	大分と兵庫，茨城から入荷され，入荷量は前年同月を25％上回り，価格は単価高だった昨年同月を25％下回った。

【土物類】 バレイショ (メーカー含む) タマネギ 【その他野菜】 松茸 栗	北海道から入荷され、前半は台風１０号の影響により入荷減となり、入荷量は前年同月比８％下回り、価格は４１％上回った。 北海道を中心に兵庫からも入荷され、北海道産は台風の影響により前半入荷が不安定となったが、中旬以降回復し順調に入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、価格は３０％上回った。 中国を中心にカナダ、長野、岩手から入荷され、中国産の端境期と北米産及び国内産の生育遅れから入荷量が前年同月を４６％下回り、価格は４４％上回った。 愛媛と京都を中心に入荷され、中旬以降は中生品種の着果不漁や台風１６号による落果等が影響し、入荷量が前年同月を２０％下回り、価格は３９％上回った。
---	--

主要品目（果実）	市況の概況
ゴクワセミカン	宮崎，熊本，福岡，大分から入荷され，入荷量は前年同月を１２％上回ったが，食味良く消費を後押しし，価格は前年同月並みとなった。
津軽 （サン含む）	青森，岩手，長野から入荷され，小玉傾向により前年同月比で入荷量は１２％下回り，価格は６５％上回った。
豊水梨	富山，長野を中心に入荷され，入荷量が前年同月を１５％上回り，価格は１０％下回った。
二十世紀梨	鳥取，長野，京都から入荷され，主力の鳥取が前進出荷により早めに切り上がったため，入荷量が前年同月を２３％下回ったが，競合品目の潤沢な入荷から，価格は前年同月並みとなった。
刀根・平核無柿	和歌山を中心に奈良から入荷され，入荷量が前年同月を１１％下回り，価格は８％上回った。
巨峰	長野，山梨から入荷され，入荷量が前年同月を１９％下回り，価格は高値だった前年同月並みとなった。
アールス	静岡，茨城，石川から入荷され，前年同月比で入荷量は２１％下回り，価格は１４％上回った。